

主に願ひ求める信仰

ルカによる福音書一八章35〜43節

先に行く人々が叱りつけて黙らせようとしたが、彼はますます、「ダビデの子よ、私を憐れんでください」と叫び続けた。(39)

物乞いをしながら生活をしていた一人の盲人が、イエスがそばを通られると聞き、この時を逃してなるものかと必死になって叫びました。「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください」。彼が生き延びるためにはそうするしかなかったのです。人々は彼を叱って黙らせようとしたが、彼はますます激しく叫び続けました。周りの人々はイエスに憐れんでいただかなくても生きていけます。けれども彼は、イエスに憐れんでいただかなければ生きていけないのです。彼の置かれていた切迫した状況が、イエスへの一途な信仰を生み出しました。イエスは「あなたの信仰があなただけを救った」(42)と言われて彼の目を癒されました。主イエスは私たちの必死な叫びを聞いてくださいます。その叫びを「あなたの信仰」と拾い上げてくださいます。私たちも一心に主に向かって叫ぼうではありませんか。